



体協キャラクター
たちえもん たちみちゃん

スポーツ たちかわ No.95

創立70年を迎え心からの感謝と新たな誓い

立川市体育協会は、皆さまの温かいご支援をいただき創立70周年を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

私たちは、平成18年に社会的信用を高め活動の分野を広めていくため中期ビジョンを策定し、地域スポーツクラブ及び指導者の育成、障がい者スポーツへの対応、体協の自立化を図つてまいりました。

平成26年には東京オリンピック・パラリンピックを視野に第二次中期ビジョンとして改定し、地域スポーツの更なる振興とスポーツ指導者の育成・派遣等に取り組んでいます。

各国に目を向けてみますと、その国に根差した様々なスポーツ振興施策が展開されています。フランスでは、スポーツ指導者の国家資格制度があり、国家試験により認定された指導者でなければ俸給を得る専門職にはなれないと定められています。

また、ドイツではスポーツクラブにおける多様なプログラムを導入するなど運動の展開と合わせてスポーツ施設の整備を進める「ゴールデンプラン」の策定が1960年から15年計画で実施されました。国を挙げて地域スポーツクラブの拠点づくりを推進してお

り、天然芝2面（1面は陸上トラック付）・人工芝のグラウンド・プール・体育館等を備え、「みんなのスポーツ」を目指した運動を展開しています。このプランの実施により、スポーツクラブ人口が2600万人（全人口の約1/3）迄増加しています。多種スポーツを市民が安い費用で楽しめる環境を整え、どのクラブも施設内にレストランがあり、市民がビールを飲みながら、トップ選手の練習を見てスポーツ談議を楽しんでいる光景が見受けられ、地域スポーツクラブがスポーツを楽しむ場であると同時に市民の社交場として定着しているとのことです。

私たちもスポーツを楽しみながら、様々な年齢の方々が交流できる環境を少しでも整えていければと考えています。当会が、取り組んでいる立川シティハーフマラソンの運営やスポーツ企業との共同体による体育施設管理への参入、スポーツ指導者の育成事業、プロバスケットボールチームの拠点づくり等への支援事業等の先の姿（目標）に重なるものであります。創立70周年を起点として改めて皆さまのご理解とご支援をお願いする次第です。

(特非) 立川市体育協会

役員一同

第70回

立川市民体育大会開会式

6月19日(日) 泉市民体育館に於いて、今年の市民体育大会が幕を開けた。

立川第二中学校吹奏楽部の生徒の皆さんによる力強い伴奏の中、12地区体育会と29競技団体が各団旗を先頭に行進、整列しました。

立川市長清水庄平大会会長は、「市民一人ひとりが自分の健康を自分で作り、健康に関心を持って頂きたい、それが立川の発展にも繋がっていく」と挨拶がありました。

ご来賓の皆様からは、スポーツを通じて地域の活性化や連携を深め、更に青少年の健全育成に関わり、各大会を大いに盛り上げることが、市民全体の健康につながるなど激励を頂きました。立川市を代表して活躍された選手・指導者・団体を対象に体育協会表彰、続いて体育協会70周年記念表彰（6面記事掲載）が行われ、その後



各体育会・競技団体の団旗が半円を描いて囲む中、錦町体育会の藤本麻美さん、栗原三枝子さんによる選手宣誓が行われた。エキジビションでは、高山遊主任教諭指揮による第二中学校吹奏楽の演奏が披露された。



第二中学校吹奏楽のエキジビション演奏



特定非営利活動法人 立川市体育協会のあゆみ

体育協会創立 70 周年を記念して、平成 7 年（1995）50 周年記念紙「あゆみ」・平成 18 年（2006）60 周年記念紙「平成のあゆみ」を継承、事業活動の記録として作成しました。

【平成 17 年度】 2005

- ・ニュースポーツ（吹き矢・キンボール・スナッグゴルフ）の普及活動市民が身近に感じる手軽なスポーツとして、各地区の健康フェアや小学校で普及活動を行う

【平成 18 年度】 2006

- ・第一次中期ビジョン策定
中期的構想として、事務局の開設・立川-昭島マラソンへの運営参画・体育施設指定管理業務の受託等を掲げる
- ・東京都体育協会よりの委託事業として「ジュニア育成地域推進事業」をテニス・新体操・軟式野球・バスケットボール・陸上競技・サッカーの 6 種目についてスタート（各主管競技団体には、一流の技量並びに基礎技術体験講習会の開催を要請）
- ・特別表彰・・・都立立川ろう学校高等部野球部
第 55 回関東聾学校野球大会に優勝（第 54 回に続く 2 年連続優勝と野球に取り込む姿勢による）
- ・創立 60 周年記念祝賀会（H19. 1. 6 の賀詞交歓会併催）開催と記念誌「平成のあゆみ」発行
- ・体協事務所の新設（H19. 3. 23 泉市民体育館内に体協事務局を開設）

【平成 19 年度】 2007

- ・第 61 回市民体育大会より公募（田畑柚奈さんのデザイン作品）のメダルデザインに更新
- ・ジュニア育成地域推進事業 12 種目に拡大推進
- ・子ども達のスポーツ振興として優良選手賞を創設
- ・第 41 回東京都市町村総合体育大会総合第 3 位

【平成 20 年度】 2008

- ・特別優秀選手賞…中野 高 氏（第 29 回北京オリンピック水泳 背泳ぎ出場）
- ・立川市褒賞を申請…立川警察署 駅伝部
都民体育大会駅伝の部に立川市代表として出場
初入賞の快挙

- ・柴崎市民体育館指定管理者に応募（第一次審査で落選の通知）
- ・体協ホームページのリニューアルを行う
- ・立川市吹き矢レクリエーション協会ならびに立川市自転車競技連盟が加盟（競技団体 30、地区体育会 12 合計 42 団体）
- ・自主事業として立川消防署の協力のもと 8 月に第 1 回普通救命士講習会を開催（市民を対象に A E D 使用の啓発 & 普通救命士の普及活動）受講料 1,400 円の内 900 円を補助
- ・市内体育施設への AED 設置要望書を教育長に具申、26 カ所に設置される
- ・中期的展望にたった体育施設（市民体育館・野球場・陸上競技場・練成館等）改善要望書を教育部長に提出。
- ・市民体育大会開会式に中学校吹奏楽部演奏参加要請を市内中学校校長会に教育部長経由で提出（11 月）
- ・第 62 回市民体育大会開会式に立川第二中学校吹奏楽部に出演を要請し初の学校による演奏参加を得る。
- ・特定非営利活動法人格取得（H21. 3. 17）
- ・第 42 回東京都市町村総合体育大会総合第 2 位

【平成 21 年度】 2009

- ・月次・中間決算の開始（4 月）
会計内規補則を制定 毎月、入出金、通帳等との照合と中間決算の実施を開始する
- ・初の女性副会長誕生
- ・第 63 回市民体育大会開会式に立川第二中学校吹奏楽部出演
- ・運営規程の内規（賀詞交歓会・表彰等の手順）を制定
- ・東京女子体育大学とスポーツ振興に関する協力提携
- ・特定非営利活動法人設立記念祝賀会開催（H21. 11. 14）
- ・市民ハイキングラリー開催を冬季（12 月）から春先（5 月）に変更（参加者への負担低減）
- ・第 43 回東京都市町村総合体育大会総合第 3 位

- ・ジュニア育成地域推進事業 13 種目に拡大推進
- ・立川市民マラソン創設について行政へ具申

【平成 22 年度】 2010

- ・市民体育館指定管理者委員会を設立
- ・立川市ボウリング連盟除名(定款 第2章第11条による)(競技団体 29、地区体育会 12 合計 41 団体)
- ・第 64 回市民体育大会開会式に第二小学校吹奏楽部が出演
- ・会計方式の変更とホームページに事業報告と決算報告書を開示
- ・スポレクフェスタ 2010 開会式に立川第六中学校和太鼓クラブが出演
- ・千葉国体(東金市)視察
- ・市民体育大会「駅伝大会」を市中コースで開催
25 年ぶりに多摩川河川敷遊歩道コースから新庁舎を起点とした 3.2km の周回コースへ変更
- ・少年ロードレース大会(2km)をジュニア育成地域推進事業として駅伝大会に併設開催
- ・市制 70 周年で優良団体として市長より感謝状を授与される
- ・第 44 回東京都市町村総合体育大会総合第 5 位入賞
- ・青梅マラソン視察(視察報告書提出)
- ・経費節減、コストダウンを図り少額であるが経常収支黒字を達成

【平成 23 年度】 2011

- ・第 65 回市民体育大会開会式に立川第一中学校吹奏楽部出演
- ・運営規程の内規(通常総会手順)を制定
- ・東日本大震災救援物資及び義援金活動 (Tシャツ 1,040 枚と義援金 90,037 円)
- ・昭和第一学園高等学校自転車競技部インターハイ総合優勝(立川市自転車競技連盟)
- ・山口国体視察
- ・立川シティハーフマラソン第 1 回運営委員会(H23. 10. 20)開催
音楽とのコラボ・市民参加型の大会とすることオリ

ジナルキャラクターの制定等を体協として提案

- ・事務局員を 1 名増員し 2 名体制とする(H23. 11. 1)
- ・立川シティハーフマラソン 2012(H24. 3. 4)創設
商工会議所・都陸協・読売新聞本社・立川市・教育委員会・立川市体育協会が主催
注) 立川昭島マラソン(1982年～2011年)をリニューアル
- ・第 45 回東京都市町村総合体育大会総合第 2 位
- ・第 32 回オリンピック競技大会&第 16 回パラリンピック競技大会の東京招致に関する陳情書提出
- ・錦町体育会が市民体育大会(対抗種目)総合優勝 7 連覇(大会史上初)達成

【平成 24 年度】 2012

- ・市民体育大会開会式における中学校吹奏楽部演奏出演が各中学校の持ちまわりとなる(立川第三中学校小沼校長のご尽力による)(4月)
- ・都体協より 12 地区体育会が総合型地域スポーツクラブとして認定される(4月)
- ・立川市スキー連盟退会定款第 2 章第 10 条による(5月)(これにより、加盟団体は、地区体育会 12・競技団体 29 の計 41 団体)
- ・第 66 回市民体育大会開会式に立川第三中学校吹奏楽部出演(6月)
- ・第 46 回東京都市町村総合体育大会総合第 3 位(7月)
- ・昭和第一学園高等学校自転車競技部インターハイ総合優勝 2 連覇(立川市自転車競技連盟)(8月)
- ・多摩信用金庫と事務局員派遣契約を締結、事務局体制の強化を図る。6 名体制(8月)
- ・シニアスポーツ振興事業(東京都委託) ダンス・ゲートボール・野球・硬式テニスを開始(9月)
- ・ジュニア育成地域推進事業として中野 高指導者(第 29 回北京オリンピック水泳 背泳ぎ出場)を招いての水泳教室を水泳協会主管で開催(9月)
- ・体協オリジナルキャラクターにたちえもん・たちみちゃんを制定(9月)

本市のキャラクター公募に挑戦するも落選したことから当会のキャラクターとする

- ・岐阜国体視察(10月)
- ・体協事業案内パンフレットを作成(10月)
- ・国体当市開催種目 6競技の「体協キャラクター入りのぼり旗」を制作、賀詞交歓会で披露(1月)
- ・錦町体育会が市民体育大会(対抗種目)総合優勝8連覇(連覇記録更新)達成(2月)
- ・第2回立川シティハーフマラソン2013開催(3月)
3km小中学生(立川市民)無料化・ハーフに猫ひろし氏・3kmに弘山晴美氏の招聘等の試みを図る
- ・規程・諸内規の見直し&役員選考委員会内規・職員就業内規を制定(3月)

【平成25年度】2013

- ・組織活性化委員会・創立70周年記念式典準備委員会・地域スポーツ振興委員会等を発足(5月)
- ・第67回市民体育大会開会式に立川第三中学校吹奏楽部出演(6月)
- ・中学校部活動サポート体制構築を教育委員長に具申(6月)
- ・泉市民体育館指定管理者に対しシンコースポーツ㈱との共同受託合意書締結(8月)
- ・国体向け「体協のぼり旗・各加盟団体別」を制作、第67回市民体育大会開会式にて披露(6月)
- ・中学校部活サポート体制構築について行政(教育委員会)と中学校との協議会を発足。(8月)
- ・第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京2013)開催(9月)
泉市民体育館前に体協のぼり旗(42本)を歓迎設置し事務員を配置。体協事業の広報に努める
- ・泉市民体育館指定管理者 シンコースポーツ㈱・アズビル㈱との共同企業体で受託(12月)
- ・幸町体育会が市民体育大会(対抗種目)初の総合優勝達成(2月)
- ・真如苑MURAYAMA体育館・グラウンド(旧日産跡地運動施設を視察)(2月)

- ・第3回となる「立川シティハーフマラソン2014」ゲストに谷川真理さん・大島めぐみさん・弘山晴美さんを迎え開催(3月)

【平成26年度】2014

- ・真如苑MURAYAMA体育館・グラウンド管理事務所へ当会登録(5月)
- ・第68回市民体育大会開会式に立川第七中学校吹奏楽部出演(6月)
- ・第二次中期構想(東京オリンピックまでの6年間に)を策定(9月)
- ・Tokyo BANKS(立川ステージ)立川競輪場にて開催(9月)
- ・地域スポーツクラブジュニア育成事業として西砂地区・砂川・曙・羽衣体育会で陸上競技教室を開催(当会&4地区体育会主催)(11月)
- ・柴崎市民体育館指定管理者業務に対しシンコースポーツ㈱・アズビル㈱との共同企業体で臨むが第二次審査で落選(12月)
- ・第4回「立川シティハーフマラソン2015」ゲストに千葉真子さん、エリック・ワイナイナさんを迎え開催(3月)
- ・立川市山岳連盟退会定款第2章第10条による(3月)(これにより、加盟団体は、地区体育会12・競技団体28の計40団体)

【平成27年度】2015

- ・立川市ラジオ体操連盟が準加盟(競技団体29、地区体育会12 合計41団体)(4月)
- ・スポーツ指導者への手引書を作成〔市内スポーツ指導者へのワンポイントアドバイスとして〕(4月)
- ・第69回市民体育大会開会式に立川第九中学校吹奏楽部出演(6月)
- ・第48回東京都市町村総合体育大会総合第2位(8月)
- ・ジュニア体力及び競技力向上事業としてスポーツ教室(陸上・ボッチャ・バスケットボール・バレーボール・水泳・硬式野球・野球・合気道・ソフトテニス・

テニスの10競技を開催（4月～1月）

野球…キャッチボール体験会として市内7箇所の小学校にて「ちびっこ野球オリンピック」を同日開催（9月）

- ・創立70周年プレ事業として泉市民体育館にて「泉市民体育館まつり」を開催（ニュースポーツ&加盟団体PRイベント）（10月）
- ・公園等野外施設に健康器具の設置を具申（11月）
高齢者の健康管理・集い場所として神奈川県大和市での事例を調査、医療費削減等かなり期待できる。本市でもスポーツ振興課を所管部門へ含めて推進検討を要請
- ・第8回普通救命士講習会開催（市民を対象とした普通救命士の普及活動）（11月）
- ・スポーツ指導者育成の一環としてたましん RISURU ホールにて講演会（中野ジェームズ修一氏）を立川市・教育委員会・文化財団の後援を受け無料開催参加者にスポーツ指導者への手引き書を配布（11月）
- ・体協活動広報の一環として「体協かわら版」を創設第1号を発行（1月）
- ・第5回となる「立川シティハーフマラソン2016」を開催（3月）

【平成28年度】 2016

- ・三人制バスケット TACHIKAWA DICE. EXE（プロチーム）立ち上げに参加（4月）
- ・第70回市民体育大会開会式に立川第二中学校吹奏楽部出演（6月）
創立70周年として賛助会員の方々をお迎えし感謝状贈呈、過去10年間に功績を残された加盟団体及び役員の表彰、特別優秀選手賞として岡田海緒選手（世界ろう者陸上競技選手権大会（ブルガリア）への中距離日本代表出場に対し）
- ・ジュニア体力及び競技力向上事業として読売巨人軍OB、ジャイアンツアカデミーコーチを招いてのちびっこ野球教室を開催（6月）

- ・第49回東京都市町村総合体育大会総合第3位（8月）

- ・夏巡業大相撲立川立飛場所開催について勸進元より説明と後援要請を受ける、後援受諾（8月）

2020 東京五輪開催に合わせ開催の検討を要請

- ・ジュニア体力及び競技力向上事業としてキャッチボール体験会として市内8箇所の小学校にて「ちびっこ野球オリンピック」を同日開催（9月）
- ・2008年からの普通救命士普及活動に対し東京消防庁より感謝状の贈呈（9月）
- ・自衛隊滑走路内での「自転車ロードレース大会」開催を行政に上申（9月）
これまでの経緯・調査結果・課題について説明、本市挙げての対応を要請
- ・創立70周年記念第2回スポーツ指導者講演会（講師：中野ジェームズ修一氏）を開催（9月）
新たに後援団体として昭島市体育協会と国立市体育協会、協力団体に真如苑が参加
- ・創立70周年記念「泉市民体育館まつり」を開催（加盟団体PRイベント&ニュースポーツ）（10月）
バスケットボール・水泳・フットサル・卓球に三人制プロバスケットチーム（TACHIKAWA DICE. EXE）等のトップアスリートを招くとともにボクシング・手のひらバレーなどのコーナー設置 2,091名参加
- ・市内小中学校での体幹トレーニング実技体験会開催の提言（10月）
教育長あて次代を担う子供たちに正しい姿勢とバランスを重視した体幹トレーニング実技研修の実施検討を提言
- ・創立70周年記念としてパレスホテルにて式典・祝賀会を開催（11月）

創立 70 周年記念表彰

立川市体育協会創立 70 周年を記念し、当協会に功績があった皆様に対し表彰状と感謝状が授与されました。

表彰状

（順不同・敬称略）

1 永年役職 （理事 10 年以上）

氏 名	役 職
中村 清	副会長
森島 保	副会長
鶴澤 章	常務理事
木戸口辰雄	会計
横井 有江	理事
五十嵐 治	理事
仲野 輝昭	理事
大村 勇三	推薦理事
浅見 義明	理事
渡部 保志	理事
白倉 良一	理事
岩渕 定明	理事
小林 康	理事
土方 一成	理事
石田 守	理事
堺 繁太	理事

2 特別功績

団体名	功績内容（市民体育大会）
砂川体育会	水泳男子 20 年連続優勝
錦町体育会	連続全種目出場（10 年） 連続総合優勝（8 年）
若葉町体育会	全種目出場（9 回）
高松町体育会	全種目出場（8 回）
幸町体育会	全種目出場（8 回）
羽衣町体育会	全種目出場（7 回）



ジュニア育成地域推進事業 功績団体
陸上競技協会
野球協会
バレーボール連盟
ソフトテニス連盟
柔道連盟
バドミントン協会
水泳協会
空手道連盟
バスケットボール協会
サッカー協会
テニス連盟
新体操連盟
自転車競技連盟



感謝状

（順不同・敬称略）

1 賛助会員

団体名
宗教法人真如苑
株式会社アイ・サービス
大和興産株式会社
創価学会立川文化会館
株式会社ドリーミー
学校法人藤村学園
株式会社立飛ホールディングス
多摩信用金庫

2 協力団体

団体名	貢献年度（市民体育大会開会式協力）
第二小学校吹奏楽部	平成 22 年
立川第一中学校吹奏楽部	平成 23 年
立川第二中学校吹奏楽部	平成 20・21・28 年
立川第三中学校吹奏楽部	平成 24・25 年
立川第七中学校吹奏楽部	平成 26 年
立川第九中学校吹奏楽部	平成 27 年



3 体育協会相談役

氏 名	氏 名
遠藤 佐吉	橋本 直樹
山崎 省次	穂積 勤
市川 智庸	澤部 範儀
林 聖二	石川 敏浩
高橋 栄	



（特非）立川市体育協会創立70周年記念

泉市民体育館まつり開催

10月10日泉市民体育館において様々なスポーツの観戦はもちろん、体験も各所で行い楽しさや難しさを実感し、スポーツを通じて市民の交流や体力向上・健康維持を目的とした、立川市体育協会創立70周年記念イベントとして「泉市民体育館まつり」が開催されました。

秋晴れの当日、開場と同時に様々な種類のユニフォームに身を包んだ小中学生がどつと押し寄せた。お目当ては立川初のプロバスケットボールチーム「TACHIKAWA DICEEXE」だ。プロ選手との交流や対戦ができるかとあつて子供たちの目は輝いていた。和やかな雰囲気の中にも緊張感のある体験会で、子供たちは「体の使い方

がすごい」「ボールが吸い付いてるみたい」と肌で感じた様子でした。

別会場では、フットサル・卓球・水泳の日本代表選手や監督らが熱心に指導している姿が見られ、子供たちの真剣な眼差しが印象的でした。

実戦形式の体験では、周囲から歓声もあがり大いに盛り上がりついていた。また、太極拳・スポーツ吹き矢・健康体操・合気道・体力測定などでは、多くの中高年が汗を流し、「体



の重心移動が難しい」「日ごろから姿勢に気をつけなきゃね」と自分の体について改めて考える良いきっかけとなったようです。

様々な世代の市民が同じ空間で多種目の競技を体験できる催しは、スポーツを通じた青少年の健全育成や地域の連帯感向上に大いに役立つものと思われました。



スポーツ指導者講演会（ジュニア育成地域推進事業）

主催：（特非）立川市体育協会・（公財）東京都体育協会・東京都 協力：（宗）真如苑



9月30日たましんRISURUホール（小ホール）にて昨年度に引き続き、日本では数少ないメンタルとフィジカルの両面を指導できるトレーナー、中野ジェームズ修一氏をお招きしての講演会を開催しました。テーマは「スポーツ指導者として知っておくべきフィジカルトレーニング～補強トレーニング編～体幹トレーニングとは？」と題して、青山学院大学駅伝チームへのフィジカル強化指導のエピソードを軸にしての興味深いお話でした。筋肉のしくみ・その鍛え方・動かし方・正しい体幹トレーニングによって筋肉の使い方を徹底的に学んだ青山学院大学駅伝メンバーが、いかに競技において最高のパフォーマンスを発揮し勝てるチームへと変貌を遂げていったかなど、実技も交えながらの内容に、参加された体育協会加盟団体の指導者・地域のスポーツ関係者・部活動指導者・指導者を目指す市民の方々は食い入るようにステージに目を向け、耳を傾けていました。

当日は、219名の参加者で会場は満席となりました。



創立70周年を祝して



立川市体育協会が創立70周年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。また、この度は袋の発注をいただきありがとうございました。

グループいもっこは、デイサービスから始まり、現在は、知的障害者の福祉作業所として、現在34名の利用者がいます。毎日の作業内容は、ショッピングバックの製作、付録の袋詰め、段ボール・新聞のリサイクル回収、都市軸清掃など、室内作業、外作業と毎日頑張っています。

作業の合い間には、四季折々の行事や余暇活動として心を癒す音楽活動やストレス発散にも役に立つリズム曲に合わせて身体を動かすダンスやストレッチ体操などを行います。また宿泊旅行もあり、利用者の楽しみの一つになっています。

今回の袋の製作は保護者会が中心となり、心を込めて作らせていただきました。

特定非営利活動法人いもっこの会 グループいもっこ



TOPICS

聴覚障害者の競技 デフリンピックを目指して 世界大会に出場

岡田海緒さんは、ろう者の陸上競技中距離の日本代表選手で、日本女子体育大学1年在学（柴崎町在住）です。（読売新聞でも紹介）

6月に立川市役所を訪ねた際には、清水庄平立川市長から「今後も障害者スポーツの関心の高さをバックに立川市も応援しますから後に続く人たちが励みになるようにがんばって」と激励され、6月19日に開催した第70回立川市民体育大会開会式においては体育協会特別優秀選手として表彰されました。

中学生の時にはマラソン大会に参加し、高校1年生の時、身体障害者スポーツ大会で800mで優勝し、1500mにおいても日本ろう者新記録。立川シテイハーフマラソン2015・2016の3キロレースでは、2年連続で優勝。今年、日本女子体育大学に進み、陸上部に所属し、来年トルコで開催されるデフリンピック出場をかけた大会（9月24日・25日と2日間沖縄県で開催された日本国内の予選『第13回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会兼第23回夏季デフリンピック大会日本代表選手選考競技会』に参加し、1500mで大会新記録。

「初めての世界選手権大会（ブルガリア）に出場した感想は、まずレベルの高さに驚き、特にヨーロッパの選手の強さはすごいと感じました。」

「走ることに興味を感じたのは、幼いころから走るのが好きでした。これからは頑張ってます。」

2020年東京オリンピック・パラリンピックに出場も不可能では有りません、市民の皆さんも期待して応援してください。



立川六中 岡部華鈴さん 4種競技全国大会へ

平成28年7月25～26日、第62回全日本中学校通信陸上競技東京大会において、4種競技（走高跳、砲丸投、100mH、200m）で、合計2647点の高得点で全国大会出場が決定した。

8月22日長野県松本市での第43回全日本中学校陸上競技選手権大会で、（走高跳148cm、砲丸投10.87m、100mH15秒41、200m26.66秒）合計2700点と健闘した。

陸上部顧問の山本・金崎先生によると「岡部さんは練習熱心なリーダー的存在であり、笑顔の素敵な生徒さんです」とのお話でした。



朝長なつ美さん リオデジャネイロオリンピック出場 （近代五種競技）

平成28年7月21日立川市役所において壮行会が行われた。リオデジャネイロオリンピック出場の朝長なつ美さんは、近代五種日本人過去最高順位の13位となった。9月12日に大会結果の報告のため、市長を表敬訪問し、朝長選手は「夢の舞台で頑張れたのも皆様の応援のおかげです。2020年の東京大会では金メダルを目指したい」と今後の意気込みを語られました。



障害者スポーツ振興事業

地域スポーツクラブ振興（ボッチャ）



「現在はお隣の国立市で活動していますが、立川市にもボッチャを楽しむ環境とクラブが発足したら良いな」と語っていました。

参加された方々からはこのよう
な催しが行われる事を望む声が多
く聞かれました。

渡邊健太氏からは「現在はお隣の国立市で活動をしてい

ますが、立川市にもボッチャを楽しむ環境とクラブが発足したら良いな」と語っていました。

ボッチャ大会は、12の地区体育会を二か所の体育館に分け、7月3日（日）に、泉市民体育館において、80名余りが参加をし、6チームの編成によるリーグ戦で、3コートによる競技。

7月17日（日）は、柴崎市民体育館において75名余りの参加。

過去に2度日本選手権優勝を果たした富士見町在住の渡辺政男氏と柴崎町在住の渡邊健太氏（明星大学4年）に特別ゲストとして出場して頂き、お二人からはボッチャ競技の奥深さ・競技のルールとゲームの進め方と対戦形式には、個人戦・ペア戦・3人組などの戦い方があるという説明を受けた後、スポーツ推進委員と共に各3チーム編成でのリーグ戦ゲームを楽しみました。



子ども達の参加を期待したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

次回はいよいよ多くの

子ども達の参加を期待

したい。

ジュニア体力及び競技力向上事業

ちびっこ野球教室

協力：読売巨人軍・ジャイアンツアカデミー

6月11日（土）立川公園野球場において午前10時に開会式が行われ、年長さん（小学1年生のクラスと小学2年生・3年生のクラスに分かれて開催されました。

当日は読売巨人軍OB・ジャイアンツアカデミーコーチの横河史学、田中大二郎、古城茂幸、住田尚都、石附彩、竹内沙希の6名の皆さんにご指導をいただき、梅雨の晴れ間の炎天下の中、大きな声で挨拶をすることから始まりました。

3つのグループに分かれ、柔らかいボールを使い親子でのキャッチボール、ボールをボールの上に置いたティーバッティングでボールを打つなど野球の楽しさを学びました。

子供たちに話を聞いてみると、「こんな広いところで、周りを気にすることなく投げたり打ったり捕ったり、とても楽しかった」

（三小 熊谷美来さん）「ボールの持ち方、投げ方を教えてもらいよかった」（上砂小 中原浩太君）

「バッティングが楽しかった」（1年ほど前にアメリカから帰国した八小 岩崎匠海くん 親子4人で参加）

次回はより多くの子ども達の参加を期待したい。

次回はいよいよ多くの子ども達の参加を期待したい。

競技団体紹介

立川市トライアスロン協会

会長 浅見 義明



立川市トライアスロン協会は、日本トライアスロン連合の「地域にトライアスロンを」の呼びかけで、平成10年4月に市内のほんの数人のトライアスリートで始まり、現在は小学生から70代の人まで約90人の会員までになりました。練習会は毎週水曜日に柴崎体育館のプールでのスイム練習会、土曜日は昭和記念公園でのバイク&ラン、日曜日はロングライドと熱心です。大会参加もトライアスロン大会のみならず、スイムやランの大会を入れると年間50大会ほどになり、国内のみならず海外の大会にも参加。なかには世界選手権に参加完走した会員もいます。市民大会も今年で15回目を迎えられました。東京都トライアスロン連合の区市町の39地域組織のなかで充実した活動、活躍していると自負しています。

圧巻!! 広大な自衛隊駐屯地の滑走路からスタート!

立川シティ

ハーフマラソン2017

TACHIKAWA CITY HALF MARATHON

例年 第20回 日本学生ハーフマラソン選手権大会
第22回 エニバーシティハーフマラソン大会 日本代表選手権大会
ニバーシティハーフマラソン大会



2017年
3月5日(日)
開催

申込
期間

一般申込 2016年11月1日（火）～

※申込方法により締切日が異なりますので
ご注意ください。詳細はHPへ。

大会ホームページ

<http://tachikawa-half.jp/>

立川シティ2017

検索

エントリーページ



※ 立川シティハーフマラソンは、立川市立総合体育館敷地内を走るコースです。
コースは、立川市立総合体育館敷地内を走るコースです。

役員名簿

顧問	金子 劭一	横井 有江	岩渕 定明
相談役	鏑本 昌弘	〃 副部長	小林 克生
	五十嵐 治	事業部長	小林 康
	遠藤 佐吉	仲野 輝昭	後藤 覚
	山崎 省次	〃 副部長	高水 正男
	市川 智庸	大村 勇三	小神野 勇司
	林 聖二	広報部長	唐澤 清彦
	高橋 栄	高橋 廣	中村 伸一
	橋本 直樹	〃 副部長	土方 一成
	穂積 勤	川北富士男	石田 守
	澤部 範儀	スボ少部長	藤城 恵子
	石川 敏浩	荒井 章雄	渡辺 英子
監事	大澤 敏夫	〃 副部長	河野 宏
	佐藤 耕司	河西 信祐	奥村 優
会長	河内 勝正	総務部	スボ少担当
	坂下 香澄	浅見 義明	堺 繁太
	横田 邦夫	伊藤栄一郎	広報部
	中村 清	内海 靖子	岡嵩 幸平
	森島 保	中沢 寿	萩原 伸一
専務理事		渡部 保志	洲藤 哲男
事務局長		佐藤 三男	事務局
		金井 和夫	次長
常務理事		森谷 倍己	宇土浩一郎
		伊藤 潔	相談役
		毛塚 愛子	深田 正幸
		澤口 正幸	事務局員
		白倉 良一	浅子 倅代
		齋藤けい子	長島 瑠美
會計		真田 大	
		田中 樹	
		奥石 直樹	



平成27年度 賛助会員一覽
(順不同・敬称略)

（平成28年3月31日現在）

【外部団体】(口数)	
10口	1口5千円
●真如苑	
●株式会社立飛ホールディングス	
5口	
●株式会社一如社	
4口	
●株式会社アイ・サービス	
3口	
●立川競輪場周辺対策協議会	
2口	
●多摩信用金庫	
●大和興産株式会社	
●創価学会	
立川文化会館	
●株式会社ドリミー	
●株式会社成和	
●学校法人藤村学園	
●多摩中央葬祭株式会社	
1口	
●株式会社八洋羽村営業所	
●立川グランドホテル	
●アサヒビカルビスパレッジ	
サービス株式会社東大和支店	
●株式会社PSビバレッジ	
●立川女子高等学校	
●石川ボクシングジム	
●幸福の科学立川支部	
【外部個人】(口数)	
10口	1口1千円
●中野隆石	
●片小田廣治(錦町)	
3口	
●小井節子(バスケット)	
●石川淑子(西砂町)	

平成 28 年度 賛助会員募集中 たちかわのスポーツ振興にご協力を
個人会員 1 口 1,000 円 何口でも可
団体会員 1 口 5,000 円 “
振込口座 多摩信用金庫幸町支店 / 普通預金 0131672
特定非営利活動法人立川市体育協会 (トクビ) タチカワシタイクキョウカイ

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。

(特非) 立川市体育協会

スポーツ安全保険®

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで(申込受付は平成28年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う**5**名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとに選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分 (1人あたり)	年間掛金	死亡	後遺障害	入 院	通 院	賠償責任保険 費用保障額 (任意加入あり)	突然死葬費 費用保障 支払保障額
子ども 中学生以下 特別支援学校 の生徒を含む	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動 上記団体活動に加え、個人活動も対象 ※上段：団体活動中およびその後の途中経過 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	A1 AW	800円 1,450円	2,000円 2,100円	3,000円 3,150円	4,000円 5,000円	1,500円 2,000円	対人・対物賠償 金1事故最大1億円 対人・対物賠償 金1事故最大500万円 対人・対物賠償 金1事故最大500万円	突然死 葬費(金)不金 助成金など 葬費費用 180万円
高校生 以上 65歳以上 の人も加入 可	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 子どもへのスポーツ活動の指導・審判	A2 AC A	800円 1,850円 1,300円	2,000円 2,000円 1,000円	3,000円 3,000円 1,500円	4,000円 4,000円 2,500円	1,500円 1,500円 1,000円	対人・対物賠償 金1事故最大1億円 対人・対物賠償 金1事故最大1億円 ※対人賠償金に、補償の対象 となりました。	突然死 葬費(金)不金 助成金など 葬費費用 180万円
65歳 以上	スポーツ活動 ※子どもでも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600円	900円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500円	750円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 東京都支部

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内 TEL 03-3481-2423

この広告には、スポーツ安全保険（スポーツ安全保険料）に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険料）、スポーツ安全協会傷害保険料の（学校側）外注型・突然死災害賠償用保持付普通傷害保険、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保持付普通傷害保険）及びスポーツ安全協会賠償責任の（学校側）外注型・突然死災害賠償用保持付普通傷害保険の4種類の保険についてご紹介いたします。ご入金のの際は、必ず「スポーツ安全保険」の各項目に「重要事項説明書」をよくご読取ください。詳細は各保険項目の「特約」になりますが、不明な点がございましたら（当）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

（東京海上日動火災保険 東京2020大会 特約）

お問い合わせ先 東京海上日動火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災
東京海上日動 日動火災 富士火災 三井住友火災
平成 26 年 12 月 現在 1-4-709688

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

葬祭費用担保特約付帶普通傷害保險、賠償責任保險(不

は東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。